

第 99 回国際理解講座 講演要旨

国分寺市国際協会
国際理解部会

第 99 回「国際理解講座」〈世界を知ろうシリーズ〉を 2022 年 9 月 3 日、講師に放送大学特任教授、五味政信さんをお迎えし本多公民館で開催しました。

「ベトナムの言語と文化」と題して、ベトナムの言葉の特徴、ベトナム語の成り立ち、歴史、文字の構成、ベトナム語とベトナム文化の関わりなどについて講演をいただきました。講演の後半には、「ベトナム語の挨拶表現」のところで聴講者間で挨拶の会話をするミニレッスンの要素を取り入れ、ベトナム語に馴染んでいる人もほとんど接していない人も五味さんの丁寧でわかり易い説明を興味深く聴けて、楽しみながら大いに勉強になったとたいへん好評でした。

五味さんは東京外語大学在学中にベトナム語を勉強されましたが、ベトナム語の研究を力を込めて始めたきっかけは、丁度日本とベトナムとの国交が樹立した 1973 年に東京外語大学とハノイ総合大学との間で協定が結ばれ、東京外大に派遣されたハノイ大の言語学者の先生が学識豊かで尊敬できる人柄で、その先生に魅せられて毎日のように先生の研究室を訪れてベトナムの言語について話を聞き、交流を続けたことが大きかったとのこと。その後ずっとベトナム語の研究と教育を続けられ現在に至っています。この間、2 年間ベトナム・ハノイに居住し、日本語教師として直にベトナム語に接する生活をされました。五味さんの著書に「五味版学習者用ベトナム語辞典」「ベトナム語レッスン初級」、「ベトナム語レッスン中級」などがあります。

以下に、本講演の要旨を簡単にまとめましたので紹介します。

1. ベトナムについて

1976 年に南北ベトナムが統一して「ベトナム社会主義共和国」となった。

「詩と竹と英雄の国」と言われる。

首都はハノイ。ハノイ（河内）は「ホン川」という川の中州にある都市というイメージ。北部の大都市はハノイで政治の中心地、南部はホーチンミン市で商業の中心地。

1973 年に日本と国交樹立し来年 50 周年となる。ここ数年ベトナムからの日本在住者が増加している。

・ベトナムの主な指標

面積は約 33 万 km² (日本の面積から九州を除いたくらい)。南北に S 字を引

き延ばしたような細長い国土で、北部は亜熱帯、南部は熱帯の気候である。人口は約 9,900 万人で、世界で 15 番目前後に多い。年々人口は増加している。国民の平均年齢は 33 歳前後（日本は 48 歳前後）で、約 60% が 30 歳以下。名目 GDP は約 3,400 米億ドル（2020 年）で 2011 年の 3 倍近く増加し、日本が減少しているのに対してベトナムは大きな伸び率を示している。通貨はドン。コロナの前は 1 万円で 220 万ドン程度だったがコロナ下で 170 万ドン程度に低下している。

- ・ベトナムは多民族国家で 54 の民族がある。最大の民族はベト族でベトナム人口の約 90% を占める。その他の 53 民族は少数民族。
 - ・公用語はベトナム語。ベトナムは漢字文化圏で、紀元後 10 世紀ごろまで約千年間中国に支配されていたので日本より早く漢字が使われていた。現代ベトナム語の中には中国の漢字語に由来する「漢越語」が数多く存在する。ベトナムの表記文字はローマ字。
 - ・言語学者によると、ベトナム語は元来は文字をもたない言語で、声調はなかったが声調を持つ漢語が伝わってきて声調語になった。ベトナム語は 6 つの声調をもち、同じスペルでもイントネーションによって意味が異なる。ハノイのある北部ではこの 6 つの声調を持つベトナム語を話すが、南部では若干異なるので、ハノイ方言を学んだ者には聞き取りにくい面がある。
 - ・ベトナム人の姓名は、原則的に「姓・ミドルネーム・名」の 3 語の漢字で構成されている。ベトナムではベト族の姓（名字）の数は 900 くらいと言われている。（日本では 30 万くらいある）
 - ・その他、ベトナムは香木の国と言われ、たくさんの香木が採れる。香木から採れる香りの代表とされる製品が「沈香」で、海外へ輸出されている。工芸品として有名なのは絹糸で作った刺繍や漆塗の調度品で、これらもベトナムの工芸品として輸出されている。
- 傷ついたり命を落とした兵士、教師を敬う日として「傷病烈士の日」、「教師の日」がある。

2. ベトナム語とはどのような言語か

ベトナム語の特徴として、「声調言語」、「孤立語」、「漢越語の存在」の 3 つが挙げられる。

- ・声調言語は 6 つの声調をもち、例えば同じ「ma」のスペルでも音声の上り・下がり一つひとつの意味が異なる。ma では、ma（お化け）mà（しかし）má（頬）mǎ（お墓）mā（馬）mạ（稲の苗）となる。

- ・孤立語は、1つの子音と1つの母音で一語が形成されている言語で、語形変化がなく単語間の関係が語順により表される言語である。世界には7000の言語があるとされているが、これを大きく分けると孤立語、膠着語、屈折語の3つで、ベトナム語は孤立語の代表格である。ちなみに膠着語の代表格は日本語、ヨーロッパ言語の多くは屈折語に分類される。
- ・漢越語は中国の漢字由来でベトナム語になった言語で、現代ベトナム語の60~70%を占めている。

3. ベトナム語の挨拶表現

いくつかの例を挙げると、

- ・「こんにちは」は Xin chào(シン チャオ)、Xin は「謹んで」、chào は「挨拶する」で、「謹んで挨拶します」の意味になる。
自己紹介の「私は・・・です」は Tôi là ... (トイ ラー ...)。・・・には名前が入る。「私の名前は・・・です」は Tôi tên là (トイ テン ラー ...)。
従って、Xin chào. Tôi là ... は、「こんにちは、私は・・・です」となる。
- ・「ありがとうございます」は Xin cảm ơn. (シン カム オン)。cảm ơn は漢越語で、「感恩」。したがって Xin cảm ơn. は「恩に感謝します」=ありがとうございます。=になる。「ありがとうございます」の返事に「どういたしまして」は Không có gì. (コン コーギー)。
- ・「ごめんなさい」は Xin lỗi. (シン ロイ)。返事の「だいじょうぶです」は Không sao. (コン サオ)。
- ・「さようなら」は Xin tạm biệt. (シン タム ビエツ) に「明日ね」は Mai nhé. (マイ ネー)。

質疑応答から (Q:聴講者質問、A:講師回答)

- Q: 漢越語について、漢越語は漢字にもとづいてできたベトナム語あることは理解したが、それは漢字の読みからきたか、音をベトナム語に取り入れたか、どちらでしょうか。
- A: どちらとも言える。ベトナムは10世紀ごろまで中国の支配下にあり、独立後も漢字を使い続けていたが、自分たちの文字をもちたいということでできたのが、いわゆるチュウノム文字 (chữ Nôm、意味は「ノム文字」) である (レジュメの2枚目中段に記載)。チュウノム文字は漢字と漢字を組み合わせて作った「ベトナム漢字」で、中国の発音がベトナムの発音に変わったと言える。(以上)